

日本製粉(株) 第2四半期連結累計期間の業績および通期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	161,520	93.8	4,182	78.8	5,136	84.8	3,532	87.2
2020年3月期第2四半期	172,253	102.8	5,308	99.3	6,057	95.0	4,049	100.5

< 連結業績の概況 >

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による世界規模での影響が長期化する中で、緊急事態宣言の解除後は経済活動もゆるやかに再開しておりますが、感染再拡大への懸念も依然として根強く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況におきましても、当社グループは、社会的責任として安定的に食品を供給するため、国内外の全ての製造拠点で生産活動を継続するとともに、テレワークの推進など新たな働き方を取り入れながら事業継続の体制を維持し、お客さま及び従業員の感染防止対策と安全確保に努めてまいりました。

また、当社グループは、予測のつかない厳しい事業環境においても、持続的成長を維持することを目指し、コスト削減と販売の強化を軸に既存の事業を充実させるとともに、今後成長が見込まれる分野への積極的な投資を行うなど、多角的総合食品企業としての事業基盤強化に取り組んでいます。

かねてより建設を進めてまいりました福岡工場でのプレミックス工場が本年10月に竣工したほか、ニッポン冷食(株)伊勢崎工場の冷凍食品第2工場及び、NIPPON(Thailand)Co., Ltd.の冷凍生地製造工場が11月の竣工を予定するなど、国内外で積極的な設備投資を行っております。

2021年1月1日より、当社は会社名(商号)を「日本製粉株式会社」から「株式会社ニッポン」へ変更することを決定いたしました。創立以来の会社名を変更し、「第二の創業」として、当社は新たに、名実ともに多角的総合食品企業として成長することを目指していきます。従来からの呼称「ニッポン」を新社名に用いて、皆さまから親しみをもってもらえる会社として、更なる事業の拡大、発展を図ってまいります。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けたことにより、売上高は1,615億2千万円(前年同期比93.8%)、営業利益は41億8千2百万円(同78.8%)、経常利益は51億3千6百万円(同84.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億3千2百万円(同87.2%)となりました。

< 連結業績予想 >

(%表示は対前年同期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期 通 期	345,000	100.0	9,000	81.1	10,500	82.4	7,000	78.3

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が当初予想を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響が予想以上に長期化しており、食品市場、消費行動の先行き不透明な状況が当連結会計年度末頃まで続くと想定されますので、本年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。